勿来高校 同窓会報

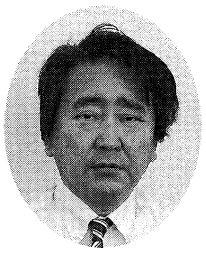
第60号
発行者
勿来高等学校
同窓会
いわき市勿来町窪田町通2の1
県立勿来高等学校内

改姓・勤務先・住所変更は速やかに事務局までご連絡下さい。

TEL (0246) 65－2221

ごあいさつ

同窓会会長　磐前康雄（昭和五十七年卒業）



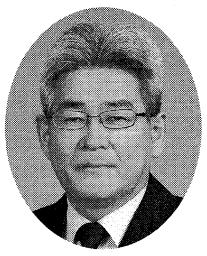
まず、はじめに令和六年一月一日に発生した能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。報道、テレビの映像を見ると東日本大震災をどうしても思い出してしまいます。数々の災害を教訓に一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、私は、六月の同窓会総会において、第八代同窓会会長金成武夫様のご勇退に伴い第九代同窓会会長を拝命いたしました昭和五十七年卒業の磐前康雄と申します。同窓生・在校生の皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。卒業生の皆さんは、本校の課程を立派に終了されて、晴れて卒業を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。三年間本校で学んだこと、体験したこと等を社会に出て発揮され地域、社会の為に未来を築いて行って下さい。社会に出れば、色々な困難、苦難があることでしょう。そういう場合は、自分だけで考えず周囲の方に聞き本校で身につけた知性と教養と強靭な意志と若さで乗り越えて行って下さい。本校の卒業生は約一万三千名余います。地域の企業にも大勢おられますので何でも聞いて吸収して自分の力にして欲しいと願っています。

最後になりますが、皆さんの輝かしい未来は今から始まります。自分の未来は誰でもない自分で決めて行くのです。皆さんの輝かしい未来を心から祝福いたしますとともに、同窓会と母校のご発展をお祈り申し上げご挨拶といたします。

勿来高校の存在意義

校長　櫻田　渉



はじめに、元日の能登半島地震で被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。十三年前の福島県を思い出しながら見る各種報道には言葉が詰まります。一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、創立七十六年を迎える本校では、県教委の施策に基づき、福祉の教育プログラムの提供が始まりました。地域や外部専門家と連携しながら福祉人材の育成を目指します。これまでの進路指導に加えて、生徒の選択の幅が広がることを期待しています。さらに、居場所づくりの事業が始まり、受託業者が週に一～二回のペースで、誰でもホッと一息付ける空間を校内に開設しています。

また、いわき支援学校くぼた校が併設されて九年となりますが、九月六日にはインクルーシブ教育に関する文部科学省の視察が行われました。本校とくぼた校の交流への関心の高さがうかがえます。

一方で、少子化の影響から、残念ながら令和六年度より募集定員が四十名へと減少し、普通科一学級の高校となります。それでもなお、磐南地域唯一の普通科高校としての存在意義は従来同様のものです。法に基づき令和六年度から各高校がスクールミッションとスクールポリシーを策定・公表します。

本校のミッションを要約すると、①「知性と自立」のもと、キャリア指導を推進する高校②キャリア指導や個別支援教育等を通して、地域を支える人材を育成する学校　③学習支援や福祉コース、インクルーシブ教育を通して、地域社会に貢献できる人材を育成する学校、となります。

同窓会員の皆様におかれましては、これまで通り、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

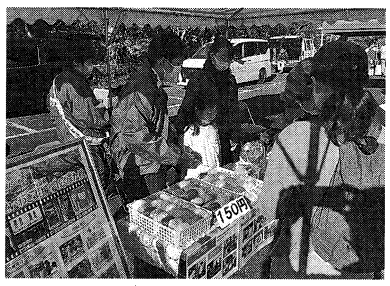
最後に、県教委ではノートの運用をはじめました。生徒の様子を随時公開していますのでぜひご覧ください。

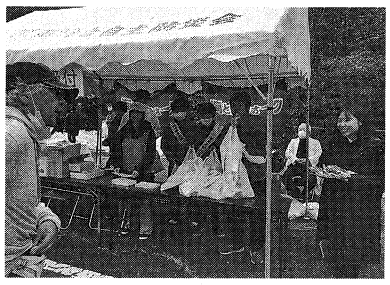
勿来高校 note QRコード

第2回なこそ海と森ウォーク

11月19日（日）、海と森ウォーク実行委員会主催、福島民報社共催の「第2回なこそ海と森ウォーク」が勿来の関公園周辺で行われました。

本校生徒16名が、本部の補助業務や手作り品のチャリティー販売を行いました。





ボランティア参加者（生徒会・家庭クラブ）

総会報告

六月十日（土）、四年ぶりに関跡会館にて同窓会総会が開催されました。

以前とは異なる時間帯・場所での開催とはなりましたが、久しぶりに同窓会員の皆様にお集まりいただける機会を設けることができました。

総会ではまず、金成武夫会長より久しぶりの総会開催について、コロナ禍を過ごした学校の状況や今後の展望について、また今年度を最後に勇退される旨のご挨拶をいただきました。

その後、令和四年度の事業と決算の報告、ならびに令和五年度の事業計画と予算案などの審議が行われ、賛成多数により承認されました。

また、金成会長のご勇退に伴い、磐前康雄新会長の就任、役員人事についても承認されました。

総会終了後は、例年のような懇親会の開催は残念ながらできませんでしたが、同窓生・旧職員・現職員総勢三十一名が関跡会館の二階で久しぶりに顔を合わせて近況報告に花を咲かせていました。

令和六年の同窓会総会・懇親会も左記のとおり実施いたします。多数の同窓生の皆様の参加をお待ちしております。

【ご案内】

日時
令和六年六月八日（土）

会場や開催方法については、今後の各種感染症等の状況を踏まえて検討してまいります。

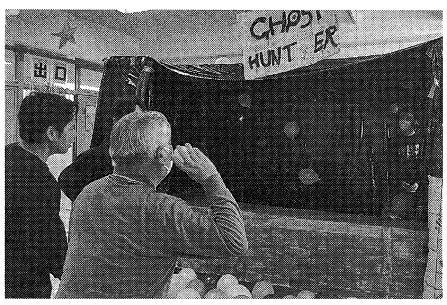
◎会則により、総会は、原則六月開催となります。

金成武夫会長に花束贈呈

勿来祭

十月二十八日と二十九日に、勿来祭の一般公開が行われました。

久しぶりの一般公開ということで、同窓生も多数来校し、懐かしの校舎やステージ発表、模擬店などを楽しんでいました。



ゲームコーナーで生徒と交流する安島さん（昭和四十一年卒）

お悔やみ

勿来高校同窓会第七代会長で現同窓会顧問の緑川惠男様が令和五年十二月一日にご逝去されました。（享年八十二歳）

勿来高校同窓会現副会長の秋元俊克様が令和五年十二月二十日にご逝去されました。（享年八十七歳）

心からご冥福をお祈り申し上げます。

卒業生の進路状況について

進路指導主事　青木　毅

今年度の進路状況は表の通りです。進路実現に向けて努力を重ねた結果、希望とする進路を実現することができました。

社会や産業の在り方が大きな変化をしている現在では、進路を実現するために社会の変化も含めた企業理解や自己理解を深めることが非常に重要なことであると言えます。進学を希望していても上級学校卒業後の職業適性や働き方を深く考え、学力面や経済面についてもご家庭でよく相談をする必要があります。就職希望者は職業適性の理想と現実についてより一層深く考える必要があります。特に販売やサービス、事務などの職種は求人数に対して希望者が多くなり学科試験や面接試験で職業適性の有無を見極められます。

今後も希望進路実現のためには、インターンシップや職業講話などを通して職業観や勤労観を醸成していくことが必要となると考えられます。そのため同窓会の皆様には今後とも様々な場面でご協力を賜るかと存じますので変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和五年度　進路一覧

卒業予定者		就職		進学					
		県内	県外	四年制大学		短期大学		専門・各種学校	
				県内	県外	県内	県外	県内	県外
男子	23人	16人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	2人
女子	9人	7人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人

内定企業名
（県内）
株式会社アイ・ケイ
エリエールプロダクト株式会社　福島工場
加藤段ボール株式会社
協業組合いわき市一般廃棄物センター
株式会社エヌ・アイ・テック
株式会社キタセキ
株式会社八幡台やまたまや
株式会社夕月（２名）
株式会社ユニックス
株式会社ワイズ（２名）
社団福祉法人春陽会
社会福祉法人ハートフルなこそ（２名）
鶴見鋼管株式会社
遠野興産株式会社（３名）
常盤電設株式会社
日産自動車株式会社
日本トーカンパッケージ株式会社
有限会社大沢工業

合格学校名
（四年制大学）
東日本国際大学　経済経営学部経済経営学科
（専門・各種学校）
いわきコンピュータカレッジ
　システム設計課
国際ビューティー＆フード大学校
　フード学科
水戸自動車大学校
日本鉄道＆スポーツビジネスカレッジ２１
　鉄道トラベル学科

介護に向き合う責任を考える

介護職

私が介護職を目指そうと思ったのは、高校一年時の介護ボランティアに参加したことがきっかけでした。ボランティア活動だけでは自分が本当に介護に向いているのか、働けるのかが分からなかったので、二年時や三年時のインターンシップやオープンハウスなどにも積極的に参加し、全五カ所の事業所で体験や見学をさせてもらいました。当然ですが、施設によって介護の方向性ややり方は違います。多くの施設を見学することで、自分が具体的にどのような介護職員として働いていきたいのか、という将来像を明確にすることができたと思います。就職活動については、履歴書の志望動機や長所短所の書き直し、面接練習などで時間がかかり夏休み中ずっと大変でした。私は動き出しは早いのですが、途中でだんだんと遅くなってしまい、結果的に最後になってしまうこともあったので、先生方と何度も何度も相談してまとめあげました。面接練習も十二回行いました。学校生活のこと、自分自身のことなど先生によって聞かれる内容も違います。私はとても緊張しやすいので、それだけ練習をしても当日緊張しましたが、笑顔を忘れず面接をやりきることができました。自分で選択した介護の仕事を、責任を持って頑張っていこうと思っています。

進学に必要なこと

専門学校進学

私は専門学校日本鉄道＆スポーツビジネスカレッジ21を受験し合格しました。

当初は気象予報士を希望していましたが、自分なりに情報検索をし、先生方と相談した結果、就職を見据えた進路として不安を感じたため、職業として駅員を目指しそれを実現するための専門学校への進学に変更することにしました。

専門学校を選ぶにあたって、今はインターネットで様々な学校の情報を手に入れることができるので、多くの専門学校の比較検討を行いました。その中でも実習の種類の多さや実技指導の充実さが売りの志望校を選択することにしました。受験準備はオープンキャンパス参加などかなり早期に活動する必要があり、三年生に進級してすぐに準備を始めました。進路活動で迷ったり分からなかったりしたことは積極的に先生方や家族と相談することで解決することができました。面接練習なども多くの先生方と行い、本番に備えることで緊張はするものの自信を持って臨むことができ、結果合格を頂くことができて本当によかったと思います。

令和五年度　各種大会結果報告

【総合運動部】
〈サッカー班〉
○第102回全国高等学校サッカー選手権福島県大会　兼　第59回福島県高等学校サッカー選手権大会
　一回戦
　勿来・相馬農業０―10清陵情報
〈弓道班〉
○第六十九回福島県高等学校体育大会弓道競技出場
○第五十六回いわき市スポーツ大会兼第七十六回福島県総合体育大会弓道競技いわき地区大会出場
○福島県高校新人体育大会いわき地区大会出場
〈バレーボール班〉
○第七十六回福島県総合スポーツ大会
　バレーボール競技
　（ビーチバレーボール種目）
《女子》
　勿来　１―０桜の聖母学院
　勿来　０―１相馬総合
《男子》
　勿来　０―１平工業
　勿来　０―１磐城
○第四回金澤興業杯ビーチバレーボール大会
《女子》
　勿来　０―２相馬総合
《男子》
　勿来　０―２
○第二回なこそ海と森ウォーク
　ボランティアとして参加

【総合文化部】
〈音楽班〉
○くぼた校祭出演
○令和五年度いわき地区高等学校前期音楽学習発表会
○第42回福島県高等学校総合文化祭（音楽部門）第73回福島県高等学校音楽学習発表会
○令和五年度いわき地区高等学校後期音楽学習発表会
〈茶道班〉
◇いわき学校茶道連盟
　第五十三回合同発表会（立礼席）
　第五十四回合同発表会（瓶掛席）
〈パソコン班〉
　第三十七回全国パソコン技能競技大会出場
〈家庭クラブ〉
◇くぼた校作業製品作りへの協力
◇文化祭での手作り製品チャリティー販売とユニセフ募金活動「We Support UNICEF 賞」受賞
◇「森と水ウォーク」運営ボランティア参加
〈関の子ボランティア〉
◇毎週水曜日・勿来駅前関の子広場清掃

令和五年度　各種検定合格者
◇実用英語技能検定
【４級】　一名
◇実用数学技能検定
【準２級　１次：計算技能検定】
　一名
【３級　１次：計算技能検定】
　二名
◇日本語ワープロ検定
【１級】　一名
◇文章入力スピード認定試験
【３級】　五名
◇情報処理技能検定（表計算）
【２級】　一名
◇文書デザイン検定
【２級】　一名
【３級】　十名

同窓会報協力金　協賛御礼

平成18年度より同窓会の皆様にお願い致しました「同窓会報協力金」ですが、本年度も多くの方々にご賛同いただきました。心より御礼申し上げます。

※令和５年４月から令和６年１月末にご協力いただきました方を掲載させて頂きました。

御協力者御芳名

昭和27年３月卒　坏　桂一
昭和30年３月卒　秋元　俊克
昭和32年３月　大平　隼夫
昭和33年３月卒　髙橋　君江
昭和34年３月卒　三國　正義
昭和36年３月卒
　金子　繁司・小沢　忠光
昭和37年３月卒
　石井淳一郎・小林八惠子
　安島　重利・緑川　惠男
昭和38年３月卒
　後藤基宗子・村上ユキ子
昭和40年３月卒　園部　明
昭和41年３月卒
　赤津　隆・安島　保
　北郷　清一・加瀬　幸市
　長久保　博
昭和42年３月卒
　木村　一・山口　孝一
　佐竹　裕子・大田原　保
　金成　武夫・鴨　和江
　八巻　久夫・永山　清
　狩野　敏文・大井川正雄
　瀬谷　一敏・栗田　節子
　蛭田実恵子・大内冨久子
　菅野　英子
昭和47年３月卒
　佐藤　角子・岡田　清和
　小宅　智江
昭和48年３月卒
　大和田廣子・西牧　範昌
昭和49年３月卒　馬上紀美則
昭和50年３月卒　片桐　仁子
昭和56年３月卒　大内　啓至
昭和57年３月卒　磐前　康雄
昭和58年３月卒　佐川　直樹
平成２年３月卒　草野　浩一
平成13年３月卒　北郷　貴弘
旧職員
　木村　敏明・鎌倉　雅臣
　小林　延子・飯間　康則
　関　敦司・永山　定昭
　村越　淳子・櫛田　正行

令和五年度　同窓会長賞受賞者

〈個人の部〉
　永瀬菜奈美
〈部活動の部〉
　下山田圭輔